

光が丘春の風小学校における児童との意見交換会 平成27年5月28日実施

	質問・要望(要旨)	回答(要旨)
1	<p>どうして土曜授業があるのですか。</p> <p>また、第2土曜日が登校日なのはなぜですか。</p> <p>どうして5月は第2土曜日なのに学校が休みなのですか。</p>	<p>平成3年度までは、毎週土曜日に授業がありました。平成7年4月から月2回、第2と第4土曜日が休みになりました。そして、平成14年度から全ての土曜日が休みになり、学校が週5日制になりました。しかし、当時だと過ごしてしまう子供が多かったことに対して、大人から小学生や中学生がきちんと目的に沿って過ごしていないのではないかと、以前のように、土曜日にしっかりと授業をしたほうがよいのではないかとということが言われ始めました。一方で、もっと勉強の時間を学校でもたなくてはならないのではないかとということも言われていました。</p> <p>そこで、練馬区では、再度検討を行い、夏休みを短くして授業の時間をしっかりと確保しようということになりました。そして、その後、夏休みを短くするかわりに月1回だけ土曜日に授業をすることで、必要な授業時間数を確保することになりました。これが土曜日も授業がある理由です。</p> <p>つぎに、第2土曜日が登校日なのはなぜかということですが、皆さんの1か月の生活のリズムや勉強のリズムなどを考えて、第2土曜日が一番よいのではないかと判断しました。また、春休み、夏休み、冬休みになると、ちょうど第3土曜日と第4土曜日が休みになってしまうため、第2土曜日に授業をすることにしました。</p> <p>また、第2土曜日に授業がない月は5月だけではなく、夏休みである8月の他に、3、4、5月と、この4か月は土曜授業がありません。毎年5月の第2土曜日は、石神井公園と光が丘公園で「こどもまつり」が行われます。ぜひ、授業ではなく「こどもまつり」に行っているいろいろな体験をしてほしいという思いで、5月は第2土曜日に授業がありません。</p>
2	<p>練馬区教育委員会は何をしているのですか。</p>	<p>練馬区教育委員会は、練馬区役所の行う仕事のうち、教育と子供に関する仕事を専門的に行っています。例えば学校教育に関する仕事としては、教科書をどれにしたらよいかということ話し合ったり、皆さんが安心して安全に学校で勉強したり運動したりすることができるよう、校舎をつくったり直したりしています。教室にある椅子や机、エアコンやトイレなどの設備を整えることも教育委員会が行っています。また、皆さんが入学する前の年に、光が丘第三小学校と光が丘第四小学校が一つになって、光が丘春の風小学校になったように、学校をつくったり統合したりすることも教育委員会で決めています。そのほか、5人の委員が、練馬区の子供たちがよりよい教育を受けることができるようにするにはどうしたらよいかということについて話し合い、実現していくことが、教育委員会の大きな仕事です。</p> <p>また、練馬区では、平成24年度から区の仕事を整理し、学校教育に関するもののほか、保育園や学童クラブなどについても教育委員会の仕事となっています。</p> <p>このように、教育委員会の仕事は種類も数も多いため、事務局が設けられ、そこにたくさんの職員がいます。実際の事務的な仕事は事務局の職員が進めています。</p>

	質問・要望(要旨)	回答(要旨)
3	学校の教科書はだれが作っているのですか。	<p>教科書は、第二次世界大戦が終わる前までは、国定教科書といって国がつくっていました。そして、今から約70年前に、現在の検定制度になりました。</p> <p>今、皆さんが学校で使っている教科書は、そのほとんどが普通の本を出版している会社がつくっています。大学の先生やいろいろな学校の先生方など、専門の方たちの協力をいただいて、出版社は教科書をつくっています。まず教科書会社が編集という作業を行い、その後、文部科学省が教科書としてふさわしいかという審査を行います。その審査に合格した教科書が、皆さんが使う教科書になっていきます。日本ではどの学校でも、必ず審査に合格した教科書が使われています。練馬区の教育委員会でも、文部科学省の審査に合格したたくさんの教科書の中から、練馬区の子供たちが学ぶにはどの教科書がふさわしいかということ、私たち教育委員会が検討して、皆さんが使う教科書を決めています。</p> <p>学校で習ったことや教科書に書いてあることで、学んでいて感動することがあったときは、ぜひご家族の方にも教科書を見せて、お話しをしていただきたいと思います。また、教科書のすばらしい点は、これから先、世の中に出て、自分が生きていくために必要なことも、必ず身につけることができることです。このように、教科書は皆さんにとって、ある種の宝物になります。小学校を卒業するまでに、ぜひ教科書をいつもと違った見方で見ていただけたらと思います。</p>
4	なぜ小学校は6学年に分かれているのですか。	<p>日本では今からおよそ300年前の江戸時代に、幕府の学問所や藩の学校がつくれ、町や村には寺子屋や塾がたくさんありました。これらが現在の学校の基となっています。およそ150年前の明治5年に、日本で初めて教育制度がつくられました。当時の小学校は尋常小学校と呼ばれ、その後、国民学校と呼ばれるようになりました。また、学ぶ期間も、3年間、4年間、6年間、8年間と時代によって変わりました。そして、現在と同じように小学校が6年間になったのはおよそ70年前の昭和22年からです。</p> <p>このとき、新しい法律ができ、子供たちの心と体の発達の段階などから、小学校は6年間、中学校は3年間と、小学校と中学校の区切りを定めるとともに、この9年間を義務教育としました。</p> <p>現在、皆さんは、小学校で国語や算数などの各教科の授業を受けたり、委員会活動やクラブ活動、学校行事に取り組んだり、いろいろなことを学んでいると思います。学校で学んだことは、将来皆さんが課題に向き合ったときに、その課題を解決するための力を身につけるのに役立つことと思います。ぜひ、これからも小学校で学ぶことを大切に、一人一人がめあてを持って、意欲的に学んでいただきたいと思います。</p>

	質問・要望(要旨)	回答(要旨)
5	小中学校が義務教育なのは、なぜですか。	<p>日本では、憲法の中で、全ての子を持つ親や保護者は、自分の子供に「普通教育」を受けさせることが義務づけられています。これが義務教育です。義務教育の小中学校9年間は、必ず学校に通わなくてはなりません。「普通教育」は、学校教育法という法律によって、皆さんに教える教科や勉強内容が決められています。日本に住んでいる子供たちが同じように、基本になる勉強を小中学校の9年間で学べるように、このような法律があります。</p> <p>中学校を卒業するまでは全員同じ内容をしっかりと勉強しますが、その後、高校や大学生になると、異なる内容の勉強をする機会も出てきます。また、高校に通わない人もいます。大学に行くと、自分のやりたいことを選んで勉強をするようになります。そのような勉強をするためにも、今、皆さんが勉強している義務教育で学んだことが基本となり大切になってきます。</p> <p>自分が本当に得意なことや興味のあることを見つけていくためにも、まずは義務教育にしっかりと取り組んでください。そして、義務教育の間に自分のやりたいことを見つけて、将来に向かって頑張っていたきたいと思っています。</p>
6	中学校のように、教科担任制にしないのはなぜですか。	<p>小学校が学級担任制をとっている理由の1つは、学習により取り組みやすくするためです。もう1つは、落ちついた学校生活を送ってほしいと思うためです。</p> <p>まず学習のこととしては、例えば、移動教室へ行く前に行う調べ学習や、帰ってきた後のまとめ学習をするときに、学級担任制であれば、担任の先生がそれぞれの学習の狙いや内容によって時間割を工夫することで、より皆さんが学びやすくなります。また、学級担任の先生だと、どの教科でも同じような教え方や進め方をすることができるので、安心して、落ちついて授業を受けることができます。</p> <p>もう1つの理由として、学校生活のことがあります。例えば、今問題になっているいじめなどの問題に対して、まず相談をしたり頼りにするのは担任の先生です。学級担任制の場合、担任の先生は、授業の時間だけでなく、休み時間や学校行事の取組の中で、皆さん方一人一人のよさをいろいろな面から見て、認めたり励ましたりすることができるため、皆さんはやる気や自信をつけることができます。</p> <p>小学校で教科担任制を全ての教科で行っていないのは、教科担任制では、かえって皆さんにとってマイナスにつながる可能性があるということを校長先生が総合的に判断されているからだと思います。</p> <p>中学生になると、皆さんの心と体が急速に成長して、視野が広がり、大人に近づいていきます。この1年間の小学校のうちに、学習への取り組み方、友達への接し方など、生きていく上での基本的な事柄をしっかり身につけて卒業して、中学校では教科の専門の先生からより多くのことを学んでいただきたいと思っています。</p>

	質問・要望(要旨)	回答(要旨)
7	覚える漢字は、なぜ4年生が一番多いのですか。	<p>漢字は、1年生で80字、2年生で160字、3年生と4年生で各200字、5年生で185字、6年生で181字と、小学校を卒業するまでに全部で1,006字を学びます。</p> <p>3年生や4年生のときは、低学年と異なり、いろいろな物事をしっかりと考えられるようになってきたり、抽象的な考え方もできるようになったりと、理解力が深まってくる年齢です。このため、たくさんの漢字を覚えるように割り当てられています。</p> <p>また、総合的な学習の時間も3年生から始まるため、図書館で図鑑などいろいろな参考資料を調べたり、様々な書物を広げたりするかと思います。そのようなときに、読める漢字がたくさんあったほうが理解するのに便利で、そして皆さんの能力がさらに高まります。このため、小学校では3年生と4年生のときに200字というたくさんの漢字を覚えるようになっています。</p> <p>また、全部が平仮名や片仮名だけで書かれていると、言葉の意味をつかむのに時間がかかったり、もしかしたら勘違いをしたりするかもしれません。しかし、漢字であれば、漢字自体がそのことの意味をあらわしていることで、イメージも膨らませてくれます。漢字の持つ力を知っていただき、ぜひいろいろな漢字を覚えて、書いて、使っていただきたいと思います。今の時代、いろいろな機器が発達していますが、私たちは漢字を書かないとなかなか書けるようになりません。読めても書けないのです。能力が高く、少し練習したらすぐに覚えられ、興味や関心を持てば身につく、今のこの時期にぜひしっかりと学び、この豊かな漢字を身につけていただきたいと思います。</p>
8	<p>移動教室があるのはなぜですか。</p> <p>また、5年生から参加なのは、どうしてですか。</p>	<p>移動教室があるのは、自然や文化に触れる活動や宿泊行事を通して、皆さんの経験を豊かにするためです。移動教室では、下田や岩井の海辺や、軽井沢や武石の高原などに行き自然に触れ合う体験をしたり、普段では見られない施設を見学したりすることで、皆さんの知識が広がり、学校で習ったことを実際に体験して深めたりすることができます。また、宿泊行事では、係の仕事に取り組んだり、友達と協力して身の回りのことを行ったりすることで、協力して目標を達成することのすばらしさや、決まりを守ったり、お互いを思いやって生活したりすることの大切さを学んでほしいと思います。</p> <p>次に、5年生から参加する理由です。小学校の3年生から理科と社会科の授業が始まります。3年生から今までの間に学習してきた内容を移動教室で確認し、さらに次の学びにつなげて欲しいからです。移動教室で自然観察をすることは理科の学習に役立ちますし、岩井や軽井沢などの地理や歴史を学ぶことは社会科の学習に役立ちます。</p> <p>また、5年生と6年生には、小学校の高学年として学校の柱になってほしいと考えています。そのために、移動教室を通して、自分のことは自分でやるという自立した精神や、クラスメイトと協力して生活するという助け合いの心を育ててほしいと考え、5年生から参加することになっています。</p>

	質問・要望(要旨)	回答(要旨)
9	<p>移動教室は3泊4日(6年)ではなく、1週間にしてください。</p>	<p>移動教室の一番の目的は、自然に触れ合ったり、日ごろ一緒に生活している保護者と離れて暮らすことでいろいろなことに気付いてもらいたいということですが、このためには、1週間は長いということが理由の1つです。</p> <p>2つ目は、練馬区にはたくさんの学校があるからです。練馬区には小学校が65校もあり、全ての小学校の5・6年生が移動教室を行っています。1週間に変更した場合は今よりもさらに大きな施設が必要になってしまうため、移動教室を1週間にすることは難しいというのが理由です。</p> <p>最後の理由は、もし、移動教室を1週間として普通の授業を休んでしまうと、皆さんが受けなければならない義務教育の授業時間が足りなくなってしまう。その結果、皆さんが土曜日に学校へ出てこなくてはいけなくなったり、6時間授業のある日が増えたりしてしまいます。このような理由もあり3泊4日となっています。</p>